

## ☆親子天文教室☆

## 木星と土星を観察しよう

7月22日(土)に、親子天文教室「夏休みの自由研究 木星と土星を観察しよう」が行われました。

講師は、天文アドバイザー浅田英夫先生です。

始めに、プラネタリウムで今夜の星空の案内をした後、夏の星空について説明をしていただきました。それから、宇宙に飛び出し、宇宙旅行をしながら木星と土星まで行き、詳しい内容に迫りました。先生のお話はわかりやすく、とても興味深い内容でした。

常にユーモアにあふれた語りで会場は大爆笑となりました。

その後、外に出て観望会を行いました。開始前の天気は心配でしたが、観望会の時間になると雲も晴れて、ばっちり木星と土星も見ることができました。また、この日は、タイミングよく国際宇宙ステーション(ISS)が上空を通る日でもありました。ISSは、明るい光の点が空を横切っていくように見えます。100名を超える参加者も大いに盛り上がり、「木星と土星のことがよく分かった。」「実際の望遠鏡で木星と土星が見られて

うれしかった。」などの感想をいただきました。

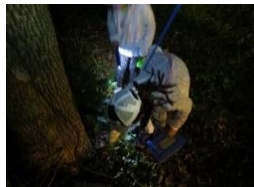


## 昆虫がいっぱい!! 夜の公園で昆虫を探そう

とよた科学体験館生き物調査団の第2回「夜の公園で昆虫を探そう」を7月15日(土)に開催しました。今回は、昆虫に詳しい豊田市総合野外センターの小島崇史さんを特別講師にお招きして、昆虫公園を会場に、街中の夜の公園にどんな昆虫がひそんでいるのかを親子で調査しました。

日が沈み始めた頃からいよいよ調査スタートです。最初は、「こんな街中に本当にいるの?」と半信半疑でした。虫を見つけるコツを教えてもらうとノコギリクワガタ、コクワガタ、カブトムシといった昆虫が次々と見つかりました。この日はライトトラップも用意しました。こちらには、小型の昆虫が多く集まり、中には珍しい種類も見ることができました。

体験館に戻ってからは、採集したり見つけたりした昆虫の種類や数をみんなで調べました。今回の調査ではカブトムシなどコウチュウの仲間が数多く見られました。また、森の土を作るゴキブリの仲間が多いこともわかりました。昆虫公園は豊田市の中心部にある都市公園ですが、色々な種類の昆虫が生息しており、それを支える森の環境も整っていることがわかりました。



## ☆天文ピックス☆ 今年満月二日前が「中秋の名月」

「中秋の名月」の季節がやってまいりました。毎月一度は満月が来るのに、なぜこの季節の月がもてはやされるのか?それは、季節が大きく関係しているようです。まず「中秋」とは、中の秋と書くように、季節を表しています。昔の暦(旧暦)で、7月・8月・9月は、秋でした。中秋とは、「秋の中の日」を表し、8月15日を表しています。そして、満月は「十五夜」とも呼ばれるように、旧暦の8月15日の月を「中秋の名月」と呼んで、お月見を楽しんでいたようです。つまり、暑い夏も終わり夜も長くなってきた秋は、空気も乾き月や星がきれいに見え始めるころで、寒い冬になる前の夜空の楽しみだったようです。お月見団子や秋のススキ、収穫された里芋などをお供えすることから別名「芋名月」とも呼ばれます。

今年中秋の名月(旧暦8月15日)は、10月4日(水)です。10月の満月の日、6日(金)の二日前になります。

もし、天気が悪くて月が見られないと悲しいですよ。そこで、昔の人はもう一度、月を楽しめる日を作りました。「後の月」と呼ばれる旧暦9月13日の「十三夜」です。別名「豆名月」「栗名月」と呼びます。今年「後の月」は、11月1日(水)です。



## 遠心力を笑いと身近なもので実感—笑劇サイエンスショー—

8月2日~6日、夏休み恒例の笑劇サイエンスショー「遠心力でブーンブーン」が行われ、たくさんの方に楽しんでいただきました。

この笑劇サイエンスショーは、今年で5年目です。劇団・笑劇派から「あかねちゃん」と「はるかちゃん」、最終日には「あかねちゃん」と「なんぺいくん(座長)」、当館から「しんちゃん」「むしめがねくん」、新加入「むら さき子さん」、のうち、日替わりで1人が出演しました。「遠心力」が使われている洗濯機、掃除機などの家電のしくみを水きりざる、水槽、ジャバラホースなど身近にあるもので、実験を進めていきました。どの実験もハラハラ、ドキドキ、そして笑いと歓声があえませんでした。

